

## 附 言 決 議

三〇

吾等は都會労働の第一線に立てる敬愛する市内交通機関労働者君が此舉に參加せん事を期す。  
そして行列の天王寺に達して散會せんとした時、突如 L.L.会の桑原純太郎氏から『大軍を襲撃しやう』この緊急動議が出で、之に反対する者と賛成する者の間に小競合を惹起したが『仲間同志争ふ時ではない』とあつて漸くに無事解散する事が出来た。大正十一年五月一日は近づいた、前年参加慘禍の警告を受けた交通労働者も既に組合を組織して五月一日を待つてゐる。知らず今年のメーデーは如何に盛大に舉行されるであらうか。

## 労 動 者 問 題 叢 書

- 第一篇 我輩はアロレタリヤである……………(四版費切)
- 第二篇 國體交渉權の眞相……………(四版費切)
- 第三篇 工場委員制度とはドンナのものか……………(八版費切)
- 第四篇 斯くあるべき國體交渉權……………(新刊)
- 第五篇 工場委員會を買ひ被るな……………(六版)
- 第六篇 労働組合を忘れるな……………(七版)
- 第七篇 萬國の労働者よ、メーデーを祝へ！(新刊)
- 第八篇 階級意識とは何か……………(近刊)
- 第九篇 労 動 歌 集……………(近刊)
- 第十篇 労働組合とは何ぞや……………(近刊)
- 第十一篇 治安警察法論……………(近刊)